



I 目指す学校像

肢体不自由のある子供たちの特性や発達課題に応じた教育を行い、地域や社会の一員として自立する力を育成する学校

- 1 児童・生徒が、意欲的に学びたくなる学校
- 2 保護者が安心して、我が子を託せる学校
- 3 地域とともに歩み、地域の人々に信頼される学校
- 4 教職員一人一人が、法令等を遵守し相互の連携を深め組織的な学校運営を推進する学校

II 本校の教育目標

日本国憲法、教育基本法及び学校教育法の理念に基づき、特別支援学校としての地域におけるセンター的な機能の発揮を図るとともに、特別な教育のニーズのある児童・生徒一人一人が、生涯を通して豊かな人生を送ることを願い、以下の教育目標を定める。

- (1) いのちを大切にし、健康な心と体をつくる。
- (2) 感性や思いを豊かにし、コミュニケーションの力を身に付ける。
- (3) 自分を大切にしながら、社会の一員として互いに認め合い、ともに生きる力を付ける。
- (4) 学ぶ喜びを味わい、主体的に学び、考え、行動する力を身に付ける。

III 中期的目標と方策

専門性の高い教育、連続性のある教育が提供できるよう、教職員一人一人がその職責を果たすとともに、校内OJTを推進し学校教育力を高めていく。次のあるべき姿をめざし以下に目標と方策を定める。

目 標

- ① **人権を尊重し、個別のニーズに応じた教育活動の充実**
人権感覚の鋭敏さ、外部専門員ほか外部人材等との協働
- ② **教職員のスキルアップを図り、協働・連携による健康・安全面の教育活動の推進**
計画的な校内OJT推進体制、外部専門員ほか外部人材等との協働による教育活動の推進
- ③ **地域支援・連携、組織体制の強化**
地域に開かれた地域の特別支援教育を推進

方 策

上記目標を実現するために以下の方策を実施する。

- ① 「**人権を尊重し個々のニーズに応じた教育活動の充実**」
 - ・生活年齢や個々の違い等に応じ適切に対応する指導の徹底
 - ・外部人材活用等による児童・生徒の能力を最大限引き出すための授業力の向上
 - ・児童・生徒一人一人のニーズに対応する系統的なキャリア教育の充実
- ② 「**教職員の協働・連携による健康・安全な教育活動の推進**」
 - ・地域と連携した実効的な防災安全指導の工夫と推進
 - ・多職種教職員連携による安全な医療的ケアの実施
 - ・安全な工事の進行管理、安全な登下校の実施
- ③ 「**地域支援・連携、組織体制の強化**」
 - ・保護者と地域関連諸機関との緊密な連携による教育の充実
 - ・肢体不自由教育の専門性の高いミドルリーダー育成を図る校内OJT体制の推進
 - ・法令順守に基づく個人情報等の適正な管理

令和6年度の重点目標と方策

1 学習指導要領に基づく授業力の向上

- (1) 人権を尊重した適切な指導の徹底
- (2) 人材を活かした教育活動の充実

5年度評価：人権尊重教育の徹底について、保護者等からの苦情は無いが教員間で互いに注意し合える環境を維持し、今後も児童・生徒及び教員間からの申し出を行いやすい環境設定で教職員が自己浄化を進められるよう、取り組みを工夫する。

ICT 機器活用教育推進では「準ずる教育課程」在籍児童・生徒を対象とした教育庁指導部特別支援教育課指定事業3種を受託し最終年度となる。ICT 関連分野コンテスト等において高等部複数生徒が受賞、確実に成果を挙げている。校内研究では各教育課程内児童・生徒の ICT 活用能力向上について研鑽を行い、全校教員の90%が昨年度よりも技能向上したと肯定的評価をつけた。重度児童・生徒へ ICT 機器活用の工夫について継続して今後の課題とする。

項目		今年度の取組目標、方策 等	対象、期間	主たる責任者
学習指導	1	人権を尊重した適切な指導の徹底、児童・生徒へ適切な言語環境を提供する指導の徹底：保護者苦情ゼロ	全教職員 通年	管理職 教務主任、 各学部主任 管轄
	2	重点目標：外部専門員や教育庁事業を活用した ICT 活用教育推進と全教職員の ICT 活用能力向上： 教職員肯定的評価80%以上 教育庁指導部特支課事業：デジタル教科書活用指導の充実（最終年次） 他校との共同遠隔指導の充実 大学連携デジタルアートの充実 教育庁総務部デジタル推進課事業：令和6年度生成AI研究校指定 研究会等ポスター発表等による共有	全教員、通年	教務主任、 研究部主任、 情報主任、 各学部主任 管轄

2 児童・生徒一人一人のニーズに応じたキャリア教育の充実

- (1) 全体計画に基づいた系統性のあるキャリア教育の推進
- (2) 保護者及び関係機関と学校の連携を強化・充実し、児童・生徒の進路指導を充実

5年度評価：肢体不自由特別支援学校進路指導の中心となることができる教員が不足している。学部の人材育成が今後も課題である。計画的な情報発信とPTAと連携した進路見学、生徒会役員を活用した学部紹介や学部案内等、児童・生徒の教育活動と連動した活動を検討する。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間	主たる責任者
キャリア教育	1	キャリア教育の手引きや進路便りを活用した教員、保護者指導の充実	1、2学期中 肯定的評価 80%以上	進路指導主任 各学部主任
	2	卒業生・卒業生保護者、区行政等と連携した進路説明会や進路懇談会等の実施	1、2学期中 肯定的評価 80%以上	進路指導主任 高進路専任 各学部主任

3 健康・安全な教育活動の推進

- (1) 教育活動全般を通じた防災教育や地震災害に備えた実践的な危機回避教育を推進
- (2) 教員や学校介護職員と医師、看護師等が連携し、健康観察、医療的ケアを安全に実施

5年度評価：クラスターは生じていない。今後も予防対応を継続しクラスター発生を抑止する。次年度後期以降、学校行事来校者範囲の段階的拡大を検討する。危機管理マニュアル改訂をすすめ、近隣消防署、市区町村防災担当者との連携を今後も強化し、より実効的な訓練を工夫して実施することが必要である。医療的ケア事業については改訂される指針に基づき、本庁各部署と連携し、安全第一で円滑な実施をすすめる。

		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
安全指導	1	① 防災教育推進委員会、区防災課や地域と連携した実効的避難訓練の充実 ② 備蓄品等を活用した教職員訓練の実施2回以上実施	実施の上、通年、肯定的評価80%	生活指導主任 防災主任 管理職
	2	① SB, 医療的ケア専用車両、登下校時の安全な誘導 ② 学区3区拡大バスコース・児童生徒居住表示を活用した登下校発災想定訓練の実施	実施の上、通年、肯定的評価80%	生活指導主任 バス部主任 管理職
健康指導	1	学校感染症をはじめとする安全衛生対策の徹底	感染症等 学校クラスターゼロ	保健主任 全教職員
	2	医療的ケア実施指針及び各種ガイドラインに基づく安全で適切な実施。新規医療的ケア各モデル事業の安全な実施。	通年、保護者肯定的評価80%	所掌主幹教諭 各学部主任
特別活動	1	児童・生徒の実態に応じた教科横断的な目標を活かした各種行事の安全な実施と確実な評価	実施後評価による確実な改善	教務主任 各学部主任
	2	各種展示会コンテスト、コンクール、検定等への出展及び受検等機会の増数	年間20件以上	教務主任 各学部主任

4 専門性のある人材を活用した特色ある教育の充実

- (1) 外部専門員の活用による自立活動、個別学習の充実
- (2) オリンピックパラリンピック教育の成果として学校レガシーを活かしたスポーツ志向、芸術文化に親しむ指導の充実

5年度評価：担当者の分掌業務化により自立活動にかかわる外部専門員を固定化しケース会実施により情報共有を進めることができた。全校児童・生徒に均等な回数と必要な内容が提供できるよう調整する。2020 学校レガシー推進校として教育委員会より事業指定を受けたことで各種アスリート招聘を実施することができた。令和5年度から令和7年度まで文化庁ユニバーサル観劇事業継続実施校として選定された。令6、令7は計画的に複数教科を見通して事前事後学習を計画し有効な学習を進める。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
特色ある教育活動	1	外部専門員等による個別の指導、自立活動の円滑な調整と情報共有の工夫	通年	所掌主幹教諭 各学部主任
	2	オリンピック・パラリンピック学校レガシー： アスリート等の招聘によるスポーツ志向ほか日本の伝統文化やアートプロジェクト、総合文化祭、文化庁事業等芸術に関する教育の推進	スポーツ、 芸術文化 年2回以上 招聘	教務主任 各学部主任

5 特別支援教育のセンター的機能の充実と地域と連携・協働した取組の推進

- (1) 地域の教育委員会、地域の小・中学校や高等学校と連携し、教育相談や交流活動を実施し共生社会の実現
- (2) 学校ホームページを活用し、学校教育活動を適時・迅速に発信

5年度評価：放課後等デイサービス各事業所との連携は、災害発生時等を想定した連携及び訓練が必要である。円滑に確認を行えるよう整備する。近隣交流校等との連携では4年ぶりに地域小学校児童との交流教育を推進することができた。障害者スポーツを活用した地域交流の推進も地域の尽力があり実施することができた。今後、特設予算が配布されなくても継続できるよう工夫することが重要である。区教委、他特支への情報提供し研修実施支援を行った。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
地域交流等	1	地域小学校へ出前授業（障害理解、多様性の尊重）推進 （区立東六郷小第4学年） 障害者スポーツ等を活用した地元町会との連携推進	出前授業、 地域交流 各1回以上	所掌主幹教諭 各学部主任 コーディネーター
	2	就学前機関や放課後等デイサービス、関連機関との確実な 情報共有による円滑な就学と安全な学校生活の強化	対面連絡会 実施 授業参観等 実施	所掌主幹教諭 各学部主任 コーディネーター

6 学校経営と組織体制の強化

- (1) 法令等規則を遵守し、個人情報等の適正で組織的な管理を徹底
- (2) 組織として業務の効率化を図るとともに、安全で健康的な働きやすい職場環境を整備

5年度評価：個人情報紛失事故をはじめサービス事故ゼロ継続。児童・生徒の怪我1件発生、環境設定の整備をはじめ再発防止策を周知徹底した。主幹教諭が所掌する分掌等においては組織目標の理解が徐々に進み達成率も昨年に比べ向上しているものの、学部内業務、分掌業務は未だ整理されておらず、業務削減遅滞している。目標設定の再考が必要である。

項目		今年度の取組目標、方策、数値目標	対象、期間等	主たる責任者
学校運営・組織体制	1	サービス事故ゼロ、児童・生徒重大事故ゼロ	事故防止研修年間5回	教育管理職
	2	ミドルリーダーの育成（指導教員、学年主任分掌主担当等）	通年	主幹教諭主管轄 教育管理職
	3	保護者コミュニケーションシステムの円滑な導入及び既存システムとの併用の工夫	2学期から運用開始 3学期完成	主幹教諭主管轄 教育管理職
	4	全校トイレ工事の円滑な実施	通年	教育管理職及び 主幹教諭管轄